

平成29年度事業計画

1 平成 29 年度当初予算額 238,776 千円 (平成 28 年度 238,928 千円)

(1) 青少年費

ア 青少年センター費

事業名	予算額	説 明
青少年センター 維持管理費	千円 166,114	青少年センターの維持管理を行うとともに、青少年センターの広報活動として利用案内・パンフレット等を作成配布する。
青少年センター ホール等設備等 整備費	9,505	既に生産が中止され、部品の保管期間も経過している備品の更新をする。
青少年科学活動 推進事業費	2,150	<p>科学活動普及・啓発事業費 青少年の科学体験活動を支援するため、青少年の科学に対する興味・関心を広く喚起する科学活動啓発事業や、地域における科学体験を支援する事業、ものづくりや工作の喜びを知ってもらう事業を、県内各地で実施する。</p> <p>科学技術系人材育成事業費 科学や技術に進んで関わろうとする青少年の人材を育成するため、小学生から高校生を対象とした課題探求型やキャリア育成系の事業を実施する。また、青少年の科学体験を支援できる指導力を持った人材のため、地域で活躍する科学体験活動指導者の育成や小学校教員、教員志望大学生に向けた理科教育講座を実施する。</p> <p>科学活動情報発信事業費 青少年の科学体験活動を促進、支援するために、様々な科学情報を科学部ホームページ「インターネット科学館」で提供する。</p> <p>ものづくりこどもサイエンス事業費 青少年のためのロボフェスタやロボットプログラム等を通じて、ものづくりの楽しさを実感する講座を展開する。</p> <p>理科教育人材育成事業費 「理科好きなこども」を育成する教員、教員志望大学生を対象にする講座を開催する。</p>
青少年舞台芸術 活動推進事業費	7,097	<p>児童文化活動推進事業費 児童の豊かな情操と想像力を育む事業を実施し、児童文化活動の促進を図る。</p> <p>青少年舞台芸術等鑑賞事業費 青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、演劇及び舞踊の鑑賞会を実施する。</p> <p>演劇舞踊等創造活動事業費 青少年が日頃行っている芸術創造活動の成果を発表する場を提供するほか、創造活動を支援するための講習会を開催するとともに、演劇指導者を対象に、演劇を制作する過程で必要なノウハウを習得する機会を提供する。</p> <p>学校演劇エンパワーメント・プロジェクト 青少年センターが、学校演劇の殿堂として中学・高校生を主とした学校演劇活動を支援するため、学校演劇部指導等に係る事業を実施する。</p>

事業名	予算額	説 明
ひきこもり等 相談関係事業費	22,971	<p>かながわ子ども・若者総合相談センター（ひきこもり地域支援センター）として、ひきこもり・不登校・非行等に悩む子ども・若者、その家族からの相談に応じるとともに、こうした方々のサポートに取り組むNPOへの支援を行う。</p> <p>相談関係事業費 相談アドバイザーとスーパーバイザーを配置して適切な相談対応を図るための体制を整備する。</p> <p>NPO支援事業費 NPO活動に必要な場や機器の提供、情報コーナーの運営、研修会の開催等で、場、情報、人材の面で支援する。</p> <p>啓発・研究事業費 ひきこもり等に悩む青少年や家族、関係者及び県民に広報、啓発を行い地域における関係団体、機関等により一層の連携強化を図る。</p> <p>地域理解促進事業 NPOと講演会、講座等を共催し、ひきこもり等の問題について県民向け講演会等を実施する。</p>
ひきこもり等青少年 自立支援事業費	3,870	ひきこもり等の青少年の社会的自立や進学、就職後のひきこもり予防を図るため、NPOと協働で「青少年のコミュニケーション・人間関係講座」を実施する。
フリースペース等 事業費補助	8,000	ひきこもり等の青少年が安心できる多様な居場所としてのフリースペース等を運営するNPO等が実施する相談事業に対して助成する。
小 計	219,707	

イ 青少年健全育成費

事業名	予算額	説 明
青少年支援・ 指導者育成推進 事業費	千円 6,579	青少年の多様な体験学習および主体的な参画を促進し、社会的自立を支援する上で中心的な役割を果たす青少年支援・指導者を育成するための研修等を実施し、人材育成を図り、その活動支援をする。
地 域 活 動 人材育成推進費	345	地域における青少年の健全育成を推進するため、地域組織や活動を活発に展開するとともに、子ども会活動の活性化を図る。
青 少 年 行 政 総 合 推 進 費	500	中学生の主張事業として、次代を担う子どもたちが、広い視野と柔軟な発想や創造性をもとに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を身につけることを目的に、作文コンクールとその発表会を行う。
かながわ子ども ・若者総合相談 事業費	210	子ども・若者育成支援推進法に基づく「かながわ子ども・若者総合相談センター（ひきこもり地域支援センター）」を設置し、子ども・若者の一次相談を受けるとともに、関係機関とのネットワーク構築とNPOスタッフを含む相談員の資質向上を図るため研修や子ども・若者が直面する問題への理解を深め、地域や関係機関における取り組み促進を図るための講演会を開催する。
小 計	7,634	

(2) 文化費
文化振興費

(文化課)

事業名	予算額	説 明
伝統芸能等普及 振 興 事 業 費	千円 10,554	伝統芸能の鑑賞や、地域で継承されている地芝居・民俗芸能等を広く県民に紹介することにより、伝統文化への理解を深め、伝統文化の継承、発展への気運を醸成するため、伝統芸能の上演等を行う。
マグネット カルチャー 推進事業費	150	文化施設、各種イベントなどの資源を活用するとともに、神奈川県の魅力豊かなコンテンツや、文化芸術の魅力を活かしたまちの賑わいを創出する。
小 計	10,704	

(3) 教育総務費
教育指導費

(子ども教育支援課)

事業名	予算額	説 明
児童生徒指導 推 進 費	千円 231	児童・生徒や保護者へ心の悩み等に関する相談機関の周知を図る。
小 計	231	

(4) 社会教育費
社会教育振興費

(生涯学習課)

事業名	予算額	説 明
家庭教育振興 事 業 費	千円 500	幼児から中学生の保護者を対象として家庭教育に必要な情報を提供し、家庭教育の重要性への理解を深める。
小 計	500	

合 計	千円 238,776	
-----	---------------	--

* 予算額には、他所属で執行するもの（共通パソコンリース代等）も含まれている。

* (2)～(4)は、平成29年4月1日現在で青少年課以外からの再配当が決定しているもの。

2 主要事業の概要

〔全体事業体系〕

(1) 全館事業

ア 広報活動事業

イ 青少年センター子どもフェスティバル

(2) 青少年の体験学習を推進する人材の育成

ア 青少年支援・指導者育成推進事業

(ア) 青少年支援・指導者の育成

(イ) 青少年育成の実践的調査研究

(ウ) 啓発

(エ) 青少年支援・指導者への支援

(オ) 連携・調整（神奈川県青少年指導者養成協議会）

イ 地域活動人材育成事業

(ア) 子ども会大会

(イ) 元気な子ども・若者の地域活動調査事業

(ウ) 地域活性化事業(市町村・団体協働事業)

ウ 中学生の主張事業

(ア) 「中学生の主張 in かながわ」

(3) 青少年のひきこもり、不登校や非行等への対応

ア かながわ子ども・若者総合相談事業

イ 青少年相談等支援事業

(ア) 不登校・ひきこもり等相談関係事業

(イ) 不登校・ひきこもり等NPO支援事業

(ウ) 不登校・ひきこもり等啓発事業

ウ ひきこもり等青少年自立支援事業

エ フリースペース等事業費補助

(4) 青少年の科学体験活動の促進支援

ア 科学活動普及・啓発事業

(ア) 青少年科学活動啓発事業

(イ) 青少年科学体験支援事業

(ウ) ものづくり子どもサイエンス事業

イ 科学技術系人材育成事業

(ア) 青少年科学人材育成事業

(イ) 科学体験指導者育成事業

(ウ) 理科教育人材育成事業

ウ 科学活動情報発信事業

(ア) インターネット科学館

(イ) 科学相談

- (5) 青少年や県民の舞台芸術活動への支援
- ア 青少年舞台芸術活動推進事業
 - (ア) 児童文化活動推進事業
 - (イ) 青少年舞台芸術等鑑賞事業
 - (ウ) 演劇舞踊等創造活動事業
 - (エ) 学校演劇エンパワーメント・プロジェクト
 - イ マグネット・カルチャー推進事業
 - (ア) マグカル劇場
 - (イ) パフォーミングアーツ人材育成事業
 - ウ 伝統芸能等普及振興事業
 - (ア) かながわ伝統芸能祭
 - エ 共催、後援事業の実施
 - オ ホール等の運営

〔事業内容〕

(1) 全館の事業

事業名	説明
ア 広報活動事業	<p>青少年センターの催し物の案内ポスター、チラシを作成配布する。 発行：6回（隔月）</p> <p>フェイスブックページにより、青少年センターの魅力を発信し、新たな利用者層を開拓する。アドレス：https://www.facebook.com/kanagawa0230</p>
イ 青少年センター子どもフェスティバル	<p>子どもたちに体験の場を提供するため、子どもフェスティバルを開催する。 平成30年1月21日（日）予定</p>

(2) 青少年の体験学習を推進する人材の育成

区分	事業名	内容	対象者
ア 青少年支援・指導者育成推進事業			
(ア) 青少年支援・指導者の育成	青少年指導員セミナー	地域県政総合センター等と共催で青少年指導員として地域で活動するための知識や技術を身につける。各地域の実状や要望に合わせたテーマを設定し実施する。(日帰り3回)	青少年指導員
	自然体験活動指導者セミナー	県内のフィールドを活用し、安全で楽しい野外活動を展開するために必要とされる基礎的な知識や技術を学ぶ。(1泊2日2回)	青少年支援・指導者、教員、学生等
	体験学習プログラムセミナー	子ども・若者のコミュニケーション能力や生き抜く力の向上をめざし、コミュニケーションの技法や自然体験・野外活動・環境学習等の多様な体験やワークショップを通して、青少年支援・指導者の総合的なスキルアップを図る。(日帰り5回)	青少年支援・指導者、教員、学生等

区分	事業名	内容	対象者
	リードアップセミナー	新規青少年行政関係職員等を対象に、効果的な職務遂行に必要な基礎的知識と技能の向上を図り、ネットワークづくりを行う。(日帰り3回+1泊2日1回)	青少年行政関係職員、青少年関係団体職員(リードアップのみ新転入職員を対象)
	フォローアップセミナー	青少年行政関係職員等が効果的に職務を遂行するために必要な知識と技能の向上及びネットワークづくり・情報交換の活発化を図る。(日帰り3回)	
	子ども施設指導員セミナー	子ども施設(児童館等)の指導員向けに、子ども・若者が自ら成長するために必要な知識・技術の習得と能力の向上を図る。(日帰り6回)	青少年育成関係施設の職員
	ユースリーダーズセミナー	地域で活動している若者を対象に、様々な体験を通して、野外活動、レクリエーション活動の知識や技術を習得し、地域や学校等で活躍できるボランティアの育成を図る。(日帰り2回+1泊2日1回)	ジュニア・リーダーや子どもと関わりのある高校生から大学生
	グループビルドセミナー	子どもとのレクリエーション活動を内外に発信する若者のグループを組織し、グループの運営やイベントの企画等のノウハウについて、実践を通し身につけ人間関係作りや子どもとの関わり方等を学び、地域で活躍するボランティアの育成を図る。(日帰り5回+1泊2日3回)	年代までの若者子どもと関わっているまたは関わろうとしている大学生年代の若者
	イベントボランティアセミナー	イベントの企画・運営方法を学び、実際に「青少年センター子どもフェスティバル」の企画・運営を体験することで、リーダーとしてのスキルアップを図り地域活動の活性化を目指す。(日帰り6回)	ジュニア・リーダーや子どもと関わりのある高校生から大学生年代までの若者
(イ) 青少年育成のための実践的調査研究	活動に役に立つマニュアル・手引作成	青少年活動に役に立つマニュアル・手引を作成する。開発プログラムについて必要があれば報告書・マニュアル等を作成し、普及を図る。	-
(ウ) 青少年支援・指導者への支援	青少年資料室の運営	青少年に関わる文献・資料・報告書等の整備、及び活動場所等についての情報の収集と提供を行う。	青少年支援・指導者、団体
	調査・アンケート実施	研修後に事業評価を行い、改善につなげるとともに、研修実施報告書にまとめ関係機関へ提供する。	-
(エ) 連携・調整(神奈川県青少年指導者養成協議会)	神奈川県青少年指導者養成協議会	総会、担当者会議等を開催し、青少年支援・指導者の育成及び活動の効果的推進と、県・市町村・青少年団体の連携強化を図る。	県、市町村、青少年関係団体
	調査	a 青少年支援・指導者の活動状況調査 b 青少年支援・指導者育成事業実施結果及び計画の調査を実施する。	

区分	事業名	内容	対象者
イ 地域活動人材育成事業			
(ア) 子ども会大会	-	子ども会活動の発展に資することを目的として県子ども会大会を開催する	子ども会関係者、一般
(イ) 元気な子ども・若者の地域活動調査事業	-	子ども・若者に関わる地域活動について、先進的な事例を取材・調査し、その成果を指導者・育成者、リーダー層の研修事業等で活用する。(随時)	ジュニア・シニア・リーダー等の高校生以上の若者
(ウ) 地域活性化事業(市町村・団体協働事業)	-	地域で行っている青少年活動の活性化を図るために、市町村と協働で研修を実施する。(日帰り5回)	地域活動に関わるまたは興味のある方
ウ 中学生の主張事業			
(ア) 中学生の主張 in かながわ	中学生の主張 in かながわ	次代を担う子どもたちが、広い視野と柔軟な発想や創造性をもとに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力を身につけることを目的に、作文コンクールとその発表会を行う。	県内に在住、在学の中学生
	ライティング・ワークショップ	書くことを通して人と人とのつながりを深めることを目標として、子どもを支援・指導するためのコツやポイントを学ぶ。	県内在住、在勤の国語教育に携わる方

(3) 青少年のひきこもり、不登校や非行等への対応

区分	事業名	内容	対象者
ア かながわ子ども・若者総合相談事業			
	総合相談センターの運営	子ども・若者育成支援推進法に基づく「かながわ子ども・若者総合相談センター(ひきこもり地域支援センター)」を運営する。	県民
	相談員研修	地域において子ども・若者への相談支援を行う相談員を対象に相談技術の向上等のための研修を実施する。	教員・行政職員・NPO職員等
	子ども・若者理解のための講演会	子ども・若者が直面する問題への理解を深め、地域や関係機関における取り組み促進を図るための講演会を開催する。	県民

イ 青少年相談等支援事業			
(ア) 不登校・ひきこもり等相談関係事業	相談窓口の開設	ひきこもり、不登校、非行等の相談窓口(電話・面接)を上記アのセンターとして開設し、青少年や家族等からの相談に応じる。また、必要に応じて自立支援にも対応する。	県民

区分	事業名	内容	対象者
	相談ケース検討会の開催	複雑、困難な相談ケースについて、医師等の専門職を加えた検討会を行い対応する。	当センター専門相談員、NPO法人等相談担当者
	県西部青少年サポート相談室の開設	NPOと協働で県西部地域に相談窓口（電話・面接）を開設し、青少年や家族等からの相談に応じる。	県民
	地域青少年支援フォーラム・個別相談会	ひきこもりをテーマに経験者・家族・支援者等を招いたフォーラムの開催とあわせて相談会を開催する。	ひきこもりに悩む家族および当事者
	地域相談会の開催	市町村の協力を得て、地域に出向き個別相談会（面接）を開催する。	県民
	相談機関紹介カード作成・発行	県内の全小学生・中学生・高校生等にかがわ子ども・若者総合相談センターや総合教育センター、児童相談所等の相談窓口の電話番号等を掲載したカードを配布する。	県内の小学・中学・高校に在籍する全児童・生徒等
	ひきこもり相談補助員事業	ひきこもり経験を有する若者が、一定の研修を受講し、専門相談員の助言・指導のもとに、ひきこもりに悩む家族等の相談を補助する。また、地域において体験談を語るなどの啓発活動を行う。	NPO団体から推薦を受けた若者
	ひきこもり理解のための行政職員研修	ひきこもりサポーター養成派遣にむけて、行政職員を対象にひきこもり支援の基礎的研修をおこなう。	行政職員
(イ)不登校・ひきこもり等NPO支援事業	活動に必要な場や機器の提供（NPO支援スペース）	ひきこもり、不登校、非行等で悩む青少年や家族のサポートに取り組むNPOや親の会が、打合せや活動等に利用できる場、軽印刷機・紙折り機等を利用できる場を提供する。	利用登録をした県内NPO等団体
	NPO運営支援情報の提供	NPO支援アドバイザーを配置し、NPOの立ち上げ、組織の運営や財務等に関する情報提供や相談を行う。	NPO等支援団体
	NPOスタッフ研修会	NPOの日常活動や組織運営に必要な知識や技能を学び、日ごろの対応や悩み等を話し合える研修会を開催する。	NPO等支援団体
	ボランティア研修	NPOを支えるボランティアを養成するとともに、ボランティア活動に関する情報の提供や活動先への橋渡しを行う。	18～30歳のボランティア活動に関心のある方
	ひきこもり地域理解促進事業	ひきこもり問題に取り組む団体の発展を促すため、または地域住民への理解・啓発を促すために、地域団体が自主的に取り組む研修会や講演会等を支援する。	NPO等支援団体
(ウ)不登校・ひきこもり等啓発事業	ひきこもり家族講座・セミナーの開催	ひきこもり当事者の家族支援として、地域関係機関と協働で講演会、セミナー等を開催する。	ひきこもりに関心のある県民

区分	事業名	内容	対象者
	ひきこもり問題啓 発パンフレット等 の配布	ひきこもり問題の正しい理解に向けたパンフレットや相 談窓口の紹介リーフレット、関係NPOの情報マップを 配布する。	小・中・高校、 相談機関等
	関連情報の提供	ひきこもり、不登校・非行等に悩む方々やそうした 方々をサポートする活動を行うNPO等に、相談や NPOの活動状況等の情報を相談窓口、情報コーナ ー、ホームページ等で紹介、提供する。	県民、NPO等団体
ウ ひきこもり等青少年自立支援事業			
	コミュニケーション・人間関係講座	コミュニケーションや対人関係に悩みを持つ青少年 を対象に、ひきこもり予防を含めた広い意味での自 立支援を目的とした講座を、ひきこもり等青少年支 援に取り組む民間支援団体と協働して実施する。	39歳までの県内 在住・在学・在 勤者
エ フリースペース等事業費補助			
	フリースペース等 事業費補助	地域でひきこもり、不登校等に関する相談を受ける NPO等の活動を支援する。	フリースペース 等運営NPOによる 相談事業

(4) 青少年の科学体験活動の促進支援

区分	事業名	内容	対象者
ア 科学活動普及・啓発事業			
(ア) 青少年科学活動啓発事業	子どもサイエンスフェスティバル	科学の不思議や楽しさを実感できる実験や科学工作ブースによるイベントを、県内4ヶ所で開催する。	青少年一般
	青少年のための科学の祭典 神奈川大会2017	小学生・中学生向けに、科学の不思議さや楽しさを実感できる、実験・科学工作を行うブースによるイベントを開催する。平成29年8月6日(日)予定。	青少年一般
	青少年のためのロボフェスタ2017	企業・研究機関・大学・高校等による出展ブースで、ロボットの楽しさを体験してもらう祭典を、神奈川総合産業高等学校を会場として開催する。「さがみロボット産業特区」関連事業として位置づけ、運営委員会の事務局を担う。平成29年11月18日(土)、19日(日)予定。	青少年一般
	星空教室	月と惑星、月食、日食等を天体望遠鏡を使用して観察する教室を、年間13回実施する。	小学3年生以上
	科学講演会	青少年科学体験活動推進協議会総会にあわせて、および共催・講演可能な場合、研究者等による講演会を実施する。	青少年一般
	日本学生科学賞神奈川県作品展	県内中学生・高校生の研究作品コンクールの神奈川大会を支援し、作品展を1週間開催する。	青少年一般
	横浜市中学校生徒科学作品展	横浜市立学校総合文化祭による理科部門の作品展開催を支援し、作品展を1週間開催する。	青少年一般
	県高校総合文化祭理科部研究発表大会	神奈川県高等学校文化連盟加盟の理科部による研究発表会の開催を支援する。	青少年一般
	県工業高校生徒研究発表会	神奈川県立工業高等学校の生徒研究発表会の開催を支援する。	青少年一般
(イ) 青少年科学体験支援事業	移動科学教室	子ども科学講座として、おもしろ実験・科学工作教室を県内8ヶ所で開催する。	小学生
	依頼団体科学教室	小学校や市町村教育委員会、科学教室等からの依頼により、子ども科学講座や星空教室を県内各所で開催する。	小学生
	ロボットプログラム(初級・中級・上級)	コンピュータで自律型ロボットのプログラミングを学び、課題に挑戦する講座を開催する。初級13回、中級9回、上級4回。	小学3年生～中学生
	自然観察会	県内3ヶ所で、動植物や地形の自然観察方法を学ぶとともに、環境保護施設等の見学を実施する。	小学生保護者
	子ども科学講座	身近に起こる科学現象のしくみや性質を、体験しながら学ぶ講座を9回実施する。	小学生
(ウ) ものづくり子どもサイエンス事業	プチロボで競走しよう地区大会・県大会	工作キットからプチロボを自作し、指定コースで競走するコンテストを県内12ヶ所で開催する。	小学3～6年生
	ものづくり体験教室	身近な材料を使用して、はこカメラや動くおもちゃ等のものづくりを体験することにより、科学現象の原理について学ぶ講座を実施する。5回実施。	小学生

区分	事業名	内容	対象者
イ 科学技術系人材育成事業			
(ア)青少年科学 人材育成事業	小学生科学研究クラブ	自分でテーマを決めて研究し、発表までを行うクラブを開催し、研究方法や発表の指導・支援を行う。全6回。	小学4～6年生
	子ども科学探検隊	県内の科学館・研究施設・大学等において、科学の不思議・ものづくりの感動を体験・見学する講座を実施する。3コース各6回実施。	小学4～6年生
	中高生サイエンス キャリアプログラム	県内科学館・大学・研究施設を訪問し、施設見学や研究者・技術者との交流を通して、科学への関心を高め技術者・研究者としての職業観を育成する講座を実施する。全10コース以上の中から希望で選択する。	中学生 高校生
	高校生天文講座	天文について基礎から最新観測法までを学び、関心に応じて研究の進め方や天文教室の運営等についての意識を高める講座を実施する。全11回。	高校生
	高校生科学ボランティア	ボランティアや子どもたちとの活動に関心のある高校生が、科学体験事業等を通して行う活動を指導・支援する。応募者は事業に指導者・アシスタントとして参加する。	高校生
(イ)科学体験指導者育成事業	おもしろ実験・科学工作指導者セミナー	実験や科学工作のノウハウを学ぶことを通して、子どもたちに科学の面白さを伝える指導者を養成する講座を実施する。平日コース・休日コースとも全7回。	一般
	天文研究クラブ	高校生天文講座の修了者や天文に興味のある方を対象に、天体写真の撮影や画像処理等を学ぶ講座を実施する。全6回。	高校生以上 一般
(ウ)理科教育人材育成事業	教員研修科学講座	小学校・特別支援学校の現職教員を対象に、物理・化学・生物の分野で、実験や工作を紹介する講座を実施する。総合教育センターの研修講座としても実施する。	教職員
	依頼型教員研修科学講座	小中学校や市町村教育委員会からの依頼により、現職教員向けの科学実験・工作等の講座を、県内各地で実施する。	教職員
	小学校教員養成課程学生対象講座	小学校教員養成課程がある大学と連携し、理科実験・科学工作等の指導方法を学ぶ講座を実施する。	大学生
ウ 科学活動情報発信事業			
(ア)インターネット科学館		青少年のための科学体験事業を広報するとともに、神奈川県青少年科学体験活動推進協議会との連携により得た情報や、科学実験・天文関係の資料等をホームページで提供する。	青少年 一般
(イ)科学相談		科学に関する質問、研究の進め方、指導法等の相談に対応する。また、科学体験室での共同研究や青少年の科学体験用資材の貸出にも対応する。	青少年 一般

(5) 青少年や県民の舞台芸術活動への支援

区分	事業名	内容	鑑賞(参加)対象
ア 青少年舞台芸術活動推進事業			
(ア) 児童文化活動推進事業	かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供するとともに、子どもたちに人形劇等の鑑賞の機会を提供する。	幼児・小学生、その保護者など
(イ) 青少年舞台芸術等鑑賞事業	青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、教養の向上を通じて豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供し、舞台芸術の普及を図ることを目的に、演劇及び舞踊の鑑賞会を実施する。	小学生以上
	青少年ダンス鑑賞会		小学生以上
(ウ) 演劇舞踊等創造活動事業	小・中・高等学校演劇発表会	小・中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施する。	小学生、中学生、高校生
	中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施する。	中学生
	中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供する。	中学生、高校生、及び教員
	青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施する。	小学生以上
	青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施する。	中学生以上及び教員
	演劇指導者のための実践的ワークショップ	小・中・高等学校の演劇部顧問や市民劇団等の指導者、学校で指導的立場にある生徒などを対象に、指導者に必要なノウハウを習得することを目的にワークショップを開催する。	演劇部顧問、市民劇団等の指導者、指導的立場にある生徒など
	(エ) 学校演劇エンパワーメント・プロジェクト	演劇部実践指導塾「演劇部お助け講座」	中・高等学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るための実践的な講座を実施する。
	学校演劇交流フェスティバル	学校演劇の優秀校による公演を鑑賞する機会を設けるとともに、学校演劇をテーマにシンポジウムを実施する。	中学生、高校生、一般
イ マグネット・カルチャー推進事業			
(ア) マグカル劇場	マグカル劇場「青少年のための芝居塾」	神奈川県演劇連盟に所属する担当劇団と広く一般から募った青少年が、キャストだけでなく舞台美術や道具・小道具から制作にいたるまで共に芝居づくりを行い、その成果をホールで発表する。	参加： 中学卒業以上29歳以下 の者 鑑賞：一般

区分	事業名	内容	鑑賞(参加)対象
	マグカルフライデー	公演や発表を行いたい個人・団体に、公演場所として多目的プラザを金曜日1日、施設・設備使用料を無料で提供することにより、有能な人材の発掘を目指す。	青少年、一般
	マグカルシアター	演劇等の公演を行いたい個人・団体に、公演場所として多目的プラザを約1週間、施設・設備使用料を無料で提供することにより、有能な人材の発掘を目指す。	青少年、一般
	マグカル・ハイスクール演劇フェスタ	「神奈川県高等学校演劇発表会」で最優秀賞など優れた成績を修めた高校演劇を上演し、広く県民に紹介することで、学校演劇の発展向上と演劇文化の振興に資する。	青少年、一般
	かながわミュージカルサミット	県内の市民ミュージカル団体の発表の場の確保と、人材育成に資するため、県内で活動する市民ミュージカルによるサミット公演を開催する。	青少年、一般
(イ)パフォーミングアーツ人材育成事業	マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー	マグカル事業の核となる舞台芸術人材を育成するため、歌、ダンス、演技の実践を学ぶアカデミーを通年実施する。	中学卒業以上26歳以下の者
ウ 伝統芸能等普及振興事業			
(ア)かながわ伝統芸能祭	歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演する。	青少年、一般
	人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演する。	青少年、一般
	地芝居	青少年・一般県民を対象に、県内で地芝居を継承する団体の活動成果を披露するとともに、歌舞伎の演技を体験するワークショップを開催する。	青少年、一般
	青少年のための地芝居ワークショップ		
レトロビート(かながわこども民俗芸能フェスティバル)	次世代を担う子どもたちを中心とした、民俗芸能の保存・承継に取り組む県内団体の発表の場づくりを行う。	青少年、一般	
エ 共催・後援事業			
	共催事業	青少年の健全育成や舞台芸術活動振興等の趣旨に適合し、共催すること等により一層その成果を高めることができる事業を、共催者、後援者として実施する。	一般
	後援事業		一般
オ ホール等の運営			
	ホール、多目的プラザ及び練習室の貸出し	県民等が主催する演劇、舞踊、コンサート、講演会など、文化活動の発表の会場や、練習場所を提供する。	一般